



## 「触れる美術作品」と「映像作品」をみんなの力で制作したい！ 「新美術館 みんなのアートプロジェクト」

長野県信濃美術館本館は令和3年度開館を目指し、現在建替え工事を行っています。

新しい県立美術館には、無料で作品を鑑賞することができる「屋根のある公園」ゾーン等に展示するコンテンツとして、触れる美術作品と映像作品を新たに制作し、開館時に展示します。

誰もがあらゆる感覚を使って美術を楽しむとともに、普段美術に関心のない方にも興味をもってもらい、アートが身近に感じられる場所へ皆さんと一緒に育てていきます。

### 新美術館 みんなのアートプロジェクト

長野県は、「信濃美術館整備基本構想(H28.11 策定)」の検討段階から、県下各地で意見交換会やワークショップを開催するなど、「県民参加による美術館づくり」に取り組んできました。

これまでの要望を踏まえ、観るだけでなく、触れたり、音を聞いたり、身体のあるあらゆる感覚を使って鑑賞できる作品を、県内外で活躍しているアーティストに制作してもらい、開館後に展示します。

この委託制作に必要な費用を調達するため、クラウドファンディング型の寄付募集に挑戦します。

1 目標金額：2,000万円

2 募集期間：令和元年8月2日(金)から令和2年3月31日(火)まで(243日間)

3 使い道：次の作品の委託制作費に活用します。

① 触れる美術作品

新しい美術館の2階ギャラリーに展示する作品(制作者4名)を委託制作します。

② 映像作品

新しい美術館の1階交流スペースの壁面に投影する作品(制作者2名)を委託制作します。

※委託制作者は裏面のとおりに

4 特典：1万円以上のご寄付の方には、寄付者銘板にお名前を掲出します。また、開館後、委託制作者の解説付き見学会にご招待します。

※その他、寄付金額に応じた特典をご用意いたします。詳細は近日中にサイトに掲載します。

#### 【寄付の方法等】

次の寄付募集サイト(外部サイト)において、寄付を受付けています。

新美術館 みんなのアートプロジェクト募集サイト：<https://www.furusato-tax.jp/gcf/590>

※ クレジットカード決済以外の方法を希望される場合は、書面によるご寄付のお申出により、受け付けいたします。詳しくは、ふるさと信州寄付金ホームページ(<http://nagano.tax-furusato.jp/>)をご参照ください。

※ 目標額に達しない場合も、集まった金額をプロジェクトへ活用させていただきます。

また、目標金額以上の寄付をいただいた場合もプロジェクトに活用させていただきます。



総務部 税務課 総務係  
(課長)丸山 信秀 (担当)矢沢 美由紀  
浦崎 宏平  
電話：026-235-7046(直通)内線 2073  
FAX：026-235-7497  
E-mail: zeimu@pref.nagano.lg.jp

県民文化部 文化政策課 信濃美術館整備室  
(室長)日向 修一 (担当)細野 毅  
電話：026-235-7283(直通)内線 2522  
FAX：026-235-7284  
E-mail: shinbi@pref.nagano.lg.jp

# 委託制作者 一覧

	氏名	経歴
触れる美術作品	金箱 淳一	<p>◆楽器インターフェース研究者、Haptic Designer。神戸芸術工科大学助教。筑波大学大学院人間総合科学研究科で博士（感性科学）を取得後、障がいや年齢に関係なく、共に音楽を楽しめる「共遊楽器」（作家による造語）を研究。</p> <p>1984年 浅科村（現：佐久市）生まれ。 2007年 第11回文化庁メディア芸術祭インタラクティブ部門審査委員会推薦作品 2013年 Asia Digital Art Award インタラクティブ部門大賞、経済産業大臣賞</p>
	中ハシクシゲ	<p>◆現代美術作家、彫刻家。京都市立芸術大学教授。 視覚を遮断して制作するという実験的な手法により、触覚体験の可能性を探求。</p> <p>1955年 香川県生まれ。 1990年代末～日本の風土に寄り添った彫刻制作を志向し、剪定された松や力士像、写真を使った「ゼロ・プロジェクト」の後、粘土による即興的なモデリングを始める。 パブリックコレクション：兵庫県立美術館、福岡市美術館 東京都現代美術館 他</p>
	西村 陽平	<p>◆陶芸家。日本女子大学名誉教授。 自身の作品制作とともに、障がいのある方々や様々な人々の造形活動にも関わりワークショップを多数開催。</p> <p>1947年 京都生まれ。 1974～98年 千葉盲学校 美術教諭 2001～16年 日本女子大学家政学部教授 1977年 第4回日本陶芸展外務大臣賞受賞 パブリックコレクション：東京都現代美術館、国立陶磁美術館（仏）、ビクトリア&amp;アルバート美術館（英） 他</p>
	光島 貴之	<p>◆美術家。鍼灸師。10歳頃失明。触覚による表現方法を模索し美術作品を発表。触覚に着目したワークショップにも取り組む。</p> <p>1954年 京都生まれ。 1992年～ 粘土造形制作開始 1995年～「触る絵画」制作開始 1998年 「'98アートパラリンピック長野」大賞・銀賞受賞 パブリックコレクション：府中市美術館、兵庫県立美術館 他</p>
映像作品	榊原 澄人	<p>◆国内外での多数の上映歴・受賞歴を有し、高い評価を受ける県内在住の映像作家。</p> <p>1980年 北海道生まれ 1995年 15歳で渡英 2003年度文化庁芸術家在外研修（現：新進芸術家海外研修） 2016年 Cutout Fest実験アニメーション映画部門：大賞（X特） 2015年 国際アニメーション映画祭ビデオインスタレーション部門：大賞（D7A） 2014年 Animatou：ブロンズベガサス賞（ホーランド） 等受賞多数</p>
	ユーフラテス	<p>◆メディアデザインを得意とするクリエイティブグループ。 映像、アニメーション、展示、グラフィックなど、メディアを問わず「考え方を重視した表現」を追求。</p> <p>2005年 慶應義塾大学 佐藤雅彦研究室の卒業生により設立 2005年～ NHK E テレ『ピタゴラスイッチ』 『大人のピタゴラスイッチ』コーナー映像制作 2010年～ NHK E テレ『0655』『2355』ディレクション 等多数</p>